

ハッ場ダム住民訴訟11年間の闘い

ハッ場ダムをストップさせる市民連絡会

深澤 洋子

ハッ場ダム住民訴訟の経過

2004年11月 6都県の住民がそれぞれ東京都、群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉県を相手に、ハッ場ダム負担金の支出差し止め等を求める住民訴訟を提起（原告総数191名）
（栃木は思川開発（南摩ダム）、湯西川ダムも対象）

2009年5月～2011年3月 東京・群馬・茨城・千葉・埼玉・栃木の各地方裁判所の一審判決

2013年3月～2014年10月 東京高等裁判所の二審判決

2015年9月8～10日 最高裁判所の決定

本訴訟で明らかにしたハッ場ダムの不要性と不当性

(1) 利水面の不要性

(2) 治水面の不要性

(3) 地質面でのハッ場ダムの危険性

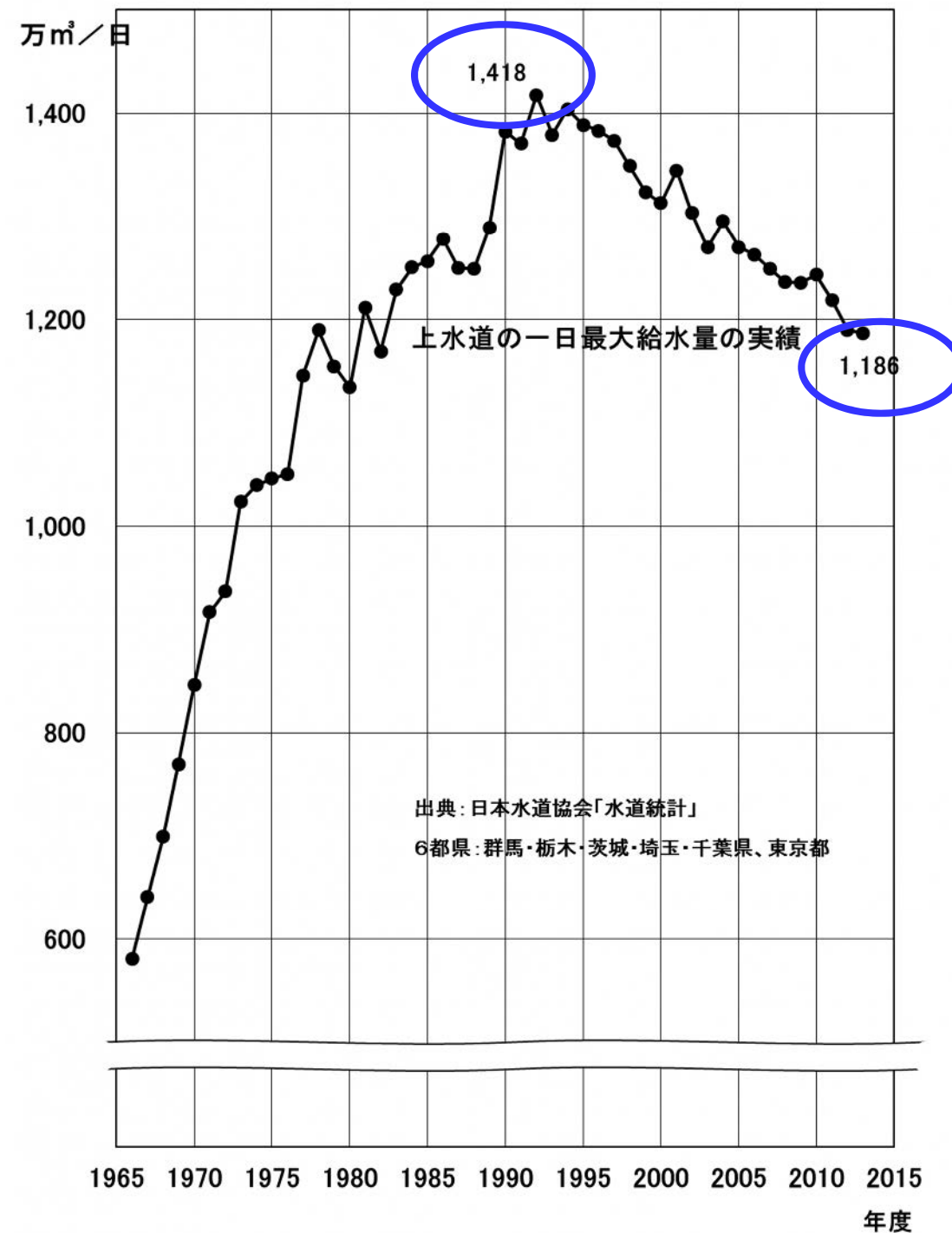
(4) かけがえのない自然と遺跡の喪失

利根川流域6都県の水道用水の推移

水需要の縮小でハッ場ダム
の必要性は一層希薄に

利根川流域6都県全体の水道
用水は1992年度以降、ほぼ減
少の一途を辿り、2013年度ま
での21年間に230万 m^3 /日も減
少。

この減少量はハッ場ダムの開
発水量143万 m^3 /日(通年換算)
の1.6倍。



判決

裁判官が行政に迎合

今回の判決は行政に何の義務を課すこともなく、行政のやりたい放題を追認するものであった。

絶望の裁判所

瀬木比呂志

最高裁中枢の
暗部を知る
元エリート裁判官
衝撃の告発!

裁判所の門をくぐる者は、
一切の希望を捨てよ!

「司法制度改革」の謀略に法曹界騒然

講談社現代新書
50
周年

講談社現代新書

ハッ場ダム住民訴訟によるダム反対運動の広がり

6都県でのハッ場ダム住民訴訟の展開と
ハッ場ダム計画の見直しと地元の支援を目指す
「ハッ場あしたの会」と連携した活動で、
ハッ場ダム反対運動は大きな広がりを示した。

(1) 議員の会、議員連盟の発足

2008年5月

地方議員による「ハッ場ダムを考える1都5県議会議員
の会」が発足

2010年10月

国会議員による「ハッ場ダム等の地元住民の生活再建を
考える議員連盟」が発足

- (2) 民主党政権発足時のハッ場ダム中止表明
一時期はハッ場ダム建設の是非が国政の大きな課題になった。
- (3) 日本学術会議による利根川の基本高水流量の再検討
カスリーン台風洪水が山を登るという国交省の不可解な資料が明るみになった。
- (4) 利根川・江戸川有識者会議での白熱の議論
大熊孝新潟大学名誉教授と関良基拓殖大学準教授が委員に加えられたことにより、白熱した議論が展開
- (5) ダム中止後の生活再建支援法案の国会上程
「議員連盟」が作成した法案がベースになった。

ハッ場ダム予定地の現状

ハッ場ダム工事事務所の説明(2015年9月)

工程	工事期間
基礎岩盤掘削	2015年1月～2016年4月
コンクリート打設	2016年6月～
ダム本体の完成	2018年度中
試験湛水	2019年度から
ダムの完成	2020年3月

ダムサイト基礎岩盤の掘削(右岸) 2015年11月30日



ハッ場あしたの会 提供

ハッ場ダム本体工事の基礎掘削によって、吾妻溪谷・右岸(川原湯地区)の岩壁が露出。

ダムサイト基礎岩盤の掘削(右岸) 2015年11月16日



ハッ場あしたの会 提供

ハッ場ダム本体工事の基礎掘削によって、吾妻溪谷・右岸(川原湯地区)の岩壁が露出。10



（朝日新聞群馬版 2015年11月20日）

移転の状況

長野原町の水没予定地

290世帯 → 今年3月末現在で4世帯

代替地への移転世帯数

今年3月末現在で86世帯
(外部からの流入を含む)

今後のハッ場ダム事業の障壁

ハッ場ダム事業は地質面で

前門の虎(ダムサイト)

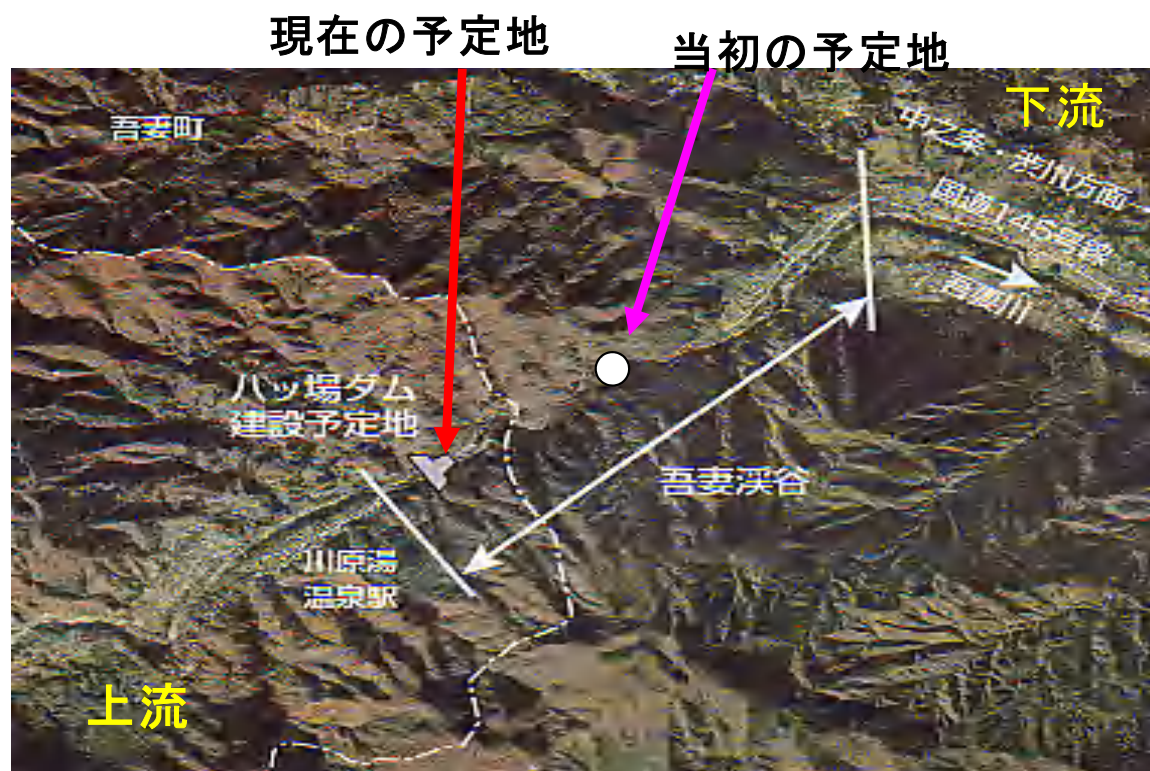
後門の狼(貯水域周辺)

を抱えている。

ダムサイト岩盤の崩壊の危険性

現在のダムサイトの危険性 についての国会答弁(1970年)

ハッ場ダムのダムサイトの変更 (1973年)



「熱変質をした地質がずっと続いているものと考えられるということで、ダムの基礎地盤としてはきわめて不安定」。

「その付近に河床を横断する3メートル幅の岩の断層があるということで、……ダムが非常に不安定」

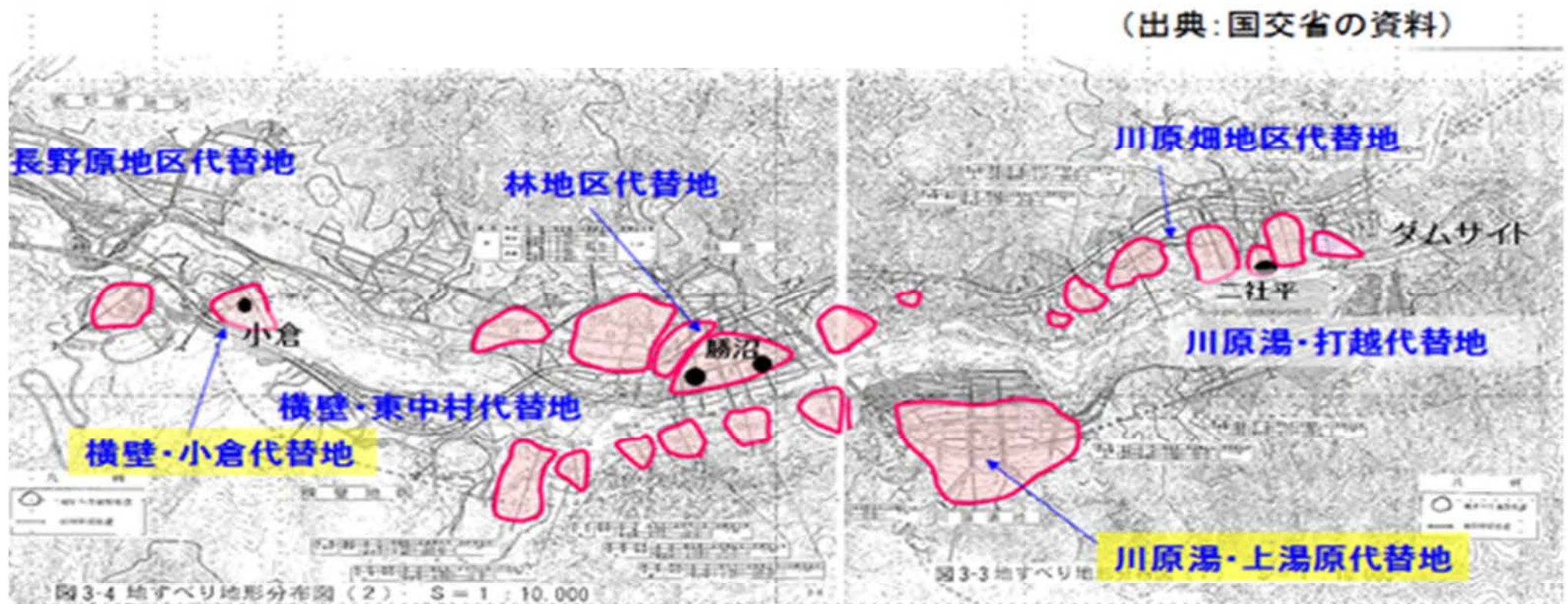
「岩盤に節理が非常に多いということで、……大型ダムの建設場所としてはきわめて不安な状況」

貯水池周辺の地質は大丈夫か？

熱水変質帯、応桑岩屑流堆積物、崖錐堆積物

などの脆弱な地層が広く分布

ハッ場ダム貯水池予定地の周辺 地質が脆弱であるところが多い



○ が地すべりの可能性があるところを示す。

(●は現在の基本計画による地すべり対策箇所)

ハッ場ダム貯水池予定地の周辺 地質が脆弱であるところが多い

川原湯地区・上湯原の崖錐堆積物層



ハッ場ダム貯水池予定地の周辺 地質が脆弱であるところが多い



(●は現在の基本計画による地すべり対策箇所)

貯水池周辺の地質は大丈夫か？

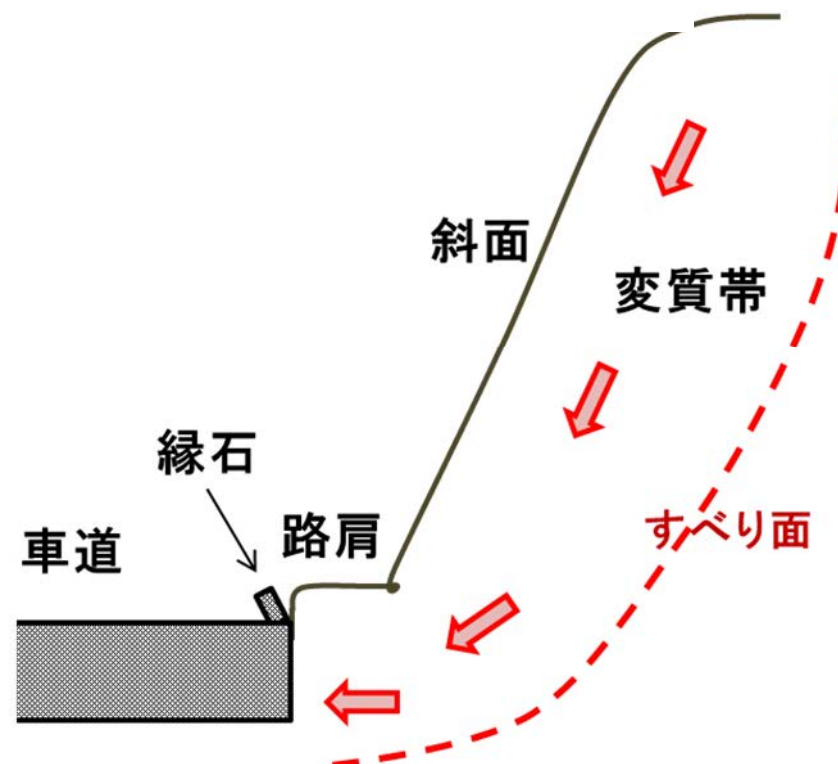
熱水変質帯が広く分布する川原畑地区での異変

付替国道の縁石の亀裂(茂四郎トンネルの西側)
(川原畑地区)

地質の専門家が2014年10月に調査

熱水変質帯の地すべり

変状のメカニズム



ダム完成後の試験湛水で深刻な地すべりが発生した事例

大滝ダム(国交省)	完成時期 2003年度→2012年度 9年延期 追加地すべり対策費 308億円
滝沢ダム(水資源機構)	完成時期 2005年度→2010年度 5年延期 追加地すべり対策費 145億円

ダム事業費の大幅増額は必至

2011年度のハツ場ダム検証の総事業費点検結果(国交省)

・事業費の増額分ー減額分	33.6 億円
・追加的な地すべり対策の点検による増額	109.7 億円
・代替地の安全対策の点検による増額	39.5 億円
合計	183 億円

実際には更なる増額要因

・地すべり対策費の更なる増額の可能性	100 億円以上？
・代替地の整備費用の大半の負担	80～100億円
・東京電力の水力発電所への減電補償	160～200億円以上

関係都県は事業費再増額に対して拒絶反応を示してきた。

事業費の大幅増額を関係都県は受け入れることができるのか？

鉄鋼スラグ問題

ハッ場ダム関係でも代替地造成等の工事に大同特殊鋼の鉄鋼スラグがかなり使われてきたとされている。

大同特殊鋼の鉄鋼スラグには二つの問題がある

- スラグの膨張による構造物の変形
エージング処理が不十分であるので、水に反応して次第に膨張し、構造物が変形していく。
(エージング処理: 事前に膨張させる処理)
- 有害物質
フッ素、六価クロムが含まれている。
(含まれているクロムは三価クロムがほとんどだが、酸化されれば、有害な6価クロムに変わる。)

毎日新聞 2015年10月24日

スラグ膨張住宅傾斜

群馬 盛り土、雨水吸い

大手鉄鋼メーカー「大同特殊鋼」(名古屋)の渋川工場(群馬県渋川市)から排出された有害物質を含む鉄鋼スラグを巡り、新たな問題が浮上した。群馬県の宅地の盛り土に使われたスラグが雨水などで膨張し、家が傾く被害が起きている。国が同県長野原町で建設を進めるハッ場ダムの住民移転代替地にもスラグは無許可で使われており、専門家は「スラグの宅地利用は危険が伴う」と警鐘を鳴らしている。

【杉本修作、尾崎修二】

スラグを宅地に利用したのは、同県榛東村山子田の建設会社社長(56)の木造2階建て住宅で、先代の父親(故人)が30年前に新築した。社長によると、父の友人で渋川工場に勤める男性の紹介で、敷地を高くする盛り土

と、ところが10年ほど過ぎると外壁にひびが入り、戸口の建て付けが悪くなり始めた。さらに床が数カ所で数センチ隆起し、基礎のコンクリートにも大きな亀裂が生じ、母屋とコンクリート製縁側の間には十数センチの隙間ができた。隆起やひび割れは今も進行しているという。

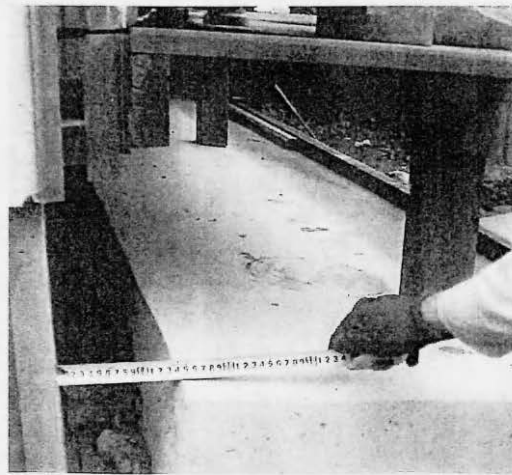
鉄鋼スラグのうち、特殊鋼の精製で排出されるものは「製鋼スラグ」と呼ばれ、これは水と反応して膨張する性質がある。道路で利用するスラグには日本工業規格(JIS)で膨張率に基準(1・5

%以下)が設けられ、JIS策定委員を務めた長岡技術科学大の丸山暉彦名誉教授(道路工学)によると、スラグに機械で蒸気を掛けるなど膨張を抑える処置をしなければ、最大で10%以上膨張することがある。社長宅を視察した丸山教授は、スラグが原因とみて間違いないとしている。

毎日新聞は社長宅のスラグを採取して国指定の専門機関に鑑定を依頼。環境基準の7倍を超える有害物質「フッ素」が検出された。また、東京農工大の渡



①母屋隣の資材置き場の床に生じた亀裂②宅地の地盤が隆起し、縁側のコンクリートは母屋から約14センチも動いている―いずれも群馬県榛東村で尾崎修二撮影



ハッ場ダムの代替地でも今後、同様な問題が起きる可能性が十分にある。

ハツ場ダムが抱えている問題

- ダムサイトの地質問題
- ダム貯水池周辺の地質問題
- 事業費の大幅増額問題
- 鉄鋼スラグ問題

ハツ場ダムがまだまだ深刻な問題を抱えています。

引き続き、ハツ場ダム事業をしっかり監視していきましょう。